

平成28年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会 議事概要

○日時等 平成28年6月20日(月)【9:55～10:40】
於：機構9F特別会議室

○出席者 委員：中村 洋 委員(慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授)
松田 憲二 委員(有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング代表取締役)
和田 義博 委員(公認会計士)
太田 克芳 委員(当機構監事)
大橋 裕子 委員(当機構監事)

【議事内容】

審議事項

- (1) 平成28年度調達等合理化計画(案)
(平成27年度調達等合理化計画に係る自己評価の報告を含む。)
- (2) 契約点検結果【新たな競争性のない随意契約】(平成27年4月～28年3月)
- (3) 契約点検結果【2ヶ年連続一者応札・一者応募】(平成27年4月～28年3月)

【主な意見等】

1. 「平成27年度自己評価」及び「平成28年度調達等合理化計画」について、次の意見があった。
 - ・「平成27年度自己評価」については、色々と取組みを行ったと評価します。
 - ・「平成28年調達等合理化計画」については、特に意見はなかった。
2. 「新たな競争性のない随意契約」について、次の意見があった。
 - ・調達等合理化推進委員会の中でも価格面等について相当議論を重ね、併せて役員会に諮る等、手続き面でも問題ないと思われまます。
3. 「2ヶ年連続一者応札・一者応募」について、次の意見があった。
 - ・今回の事案は、既存の基幹システムの改修業務だったので、結果的に一者応札・応募になったのは止むを得ませんが、システムを抜本的に変更する場合等は、一者応札・応募にならないよう努めてください。
 - ・外部のCIO補佐官が調達仕様書を作成する場合、不正防止の観点からCIO補佐官と応札する会社との業務上の関係の有無を、調達の都度、チェック確認することを検討してはいかがか。

【委員の意見等に対する対応】

3. について
 - ・一者応札・一者応募については、今後も引き続き、削減に向けた対策を講じます。
 - ・調達におけるCIO補佐官の中立性について、不正、リスク管理面からの対策を検討していきたい。